

# 平成20年度 事業報告



## 建学の理念

ひとりひとりの  
若人が持つ能力を  
最大限に引き出し  
技術者として  
社会人として  
社会に貢献できる  
人材を養成する

## 学校法人 加計学園

# 目 次

法 人 全 般 .....	1
岡 山 理 科 大 学 .....	13
倉 敷 芸 術 科 学 大 学 .....	21
千 葉 科 学 大 学 .....	28
岡山理科大学附属高等学校 .....	33
岡山理科大学附属中学校 .....	37
岡山理科大学専門学校 .....	40
玉野総合医療専門学校 .....	44
倉敷食と器専門学校 .....	49

# 学校法人 加計学園 平成20年度事業報告 【法人全般】

## I. 事業の概要（総括）

本学園は昭和36年（1961年）に創立して以来、建学の理念「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成する」に基づいて、私学として特色ある教育・研究体制の充実に努めてまいりました。

平成20年度は、加計学園の設置する3大学、1高校、1中学、3専門学校が、生涯に亘る学び舎になるため、学園教学改革を推進し、8設置校によるコンセプトの発表、意見交換などを行いました。

また、広報戦略の強化、教職員研修の充実、財務改善に向けた取組など、学園将来構想の具現化に努めました。

## II. 法人の概要

### 1. 理事・監事・評議員

（平成20年5月1日）

区分	定数	現員			備考
		常勤	非常勤	計	
理事	9～13	6	6	12	
監事	2		2	2	
評議員	23～32	26	6	32	

（単位：人）

### 2. 教職員の配置状況

（平成20年5月1日現在）

設置校名	教員								事務職員	合計	備考
	学 長 (校)	副学 長 (校)長 /教頭	教 授 (論)	准 教 授	講 師	助 教	助 手	計			
岡山理科大学	1	2	174	64	33	5	2	281	197	478	
倉敷芸術科学大学	1	1	74	18	16	8	2	120	58	178	
千葉科学大学	1	2	45	25	16	7	9	105	49	154	
岡山理科大学附属高等学校	(1)	4	79					83	19	102	※
岡山理科大学附属中学校	(1)	1	15					16	3	19	※
岡山理科大学専門学校	1	1	13					15	11	26	
玉野総合医療専門学校	1	2	28					31	7	38	
倉敷食と器専門学校	1	1	7					9	4	13	
合計	6	14	435	107	65	20	13	660	348	1,008	

※岡山理科大学附属高等学校長、岡山理科大学附属中学校長は、岡山理科大学教授と兼務

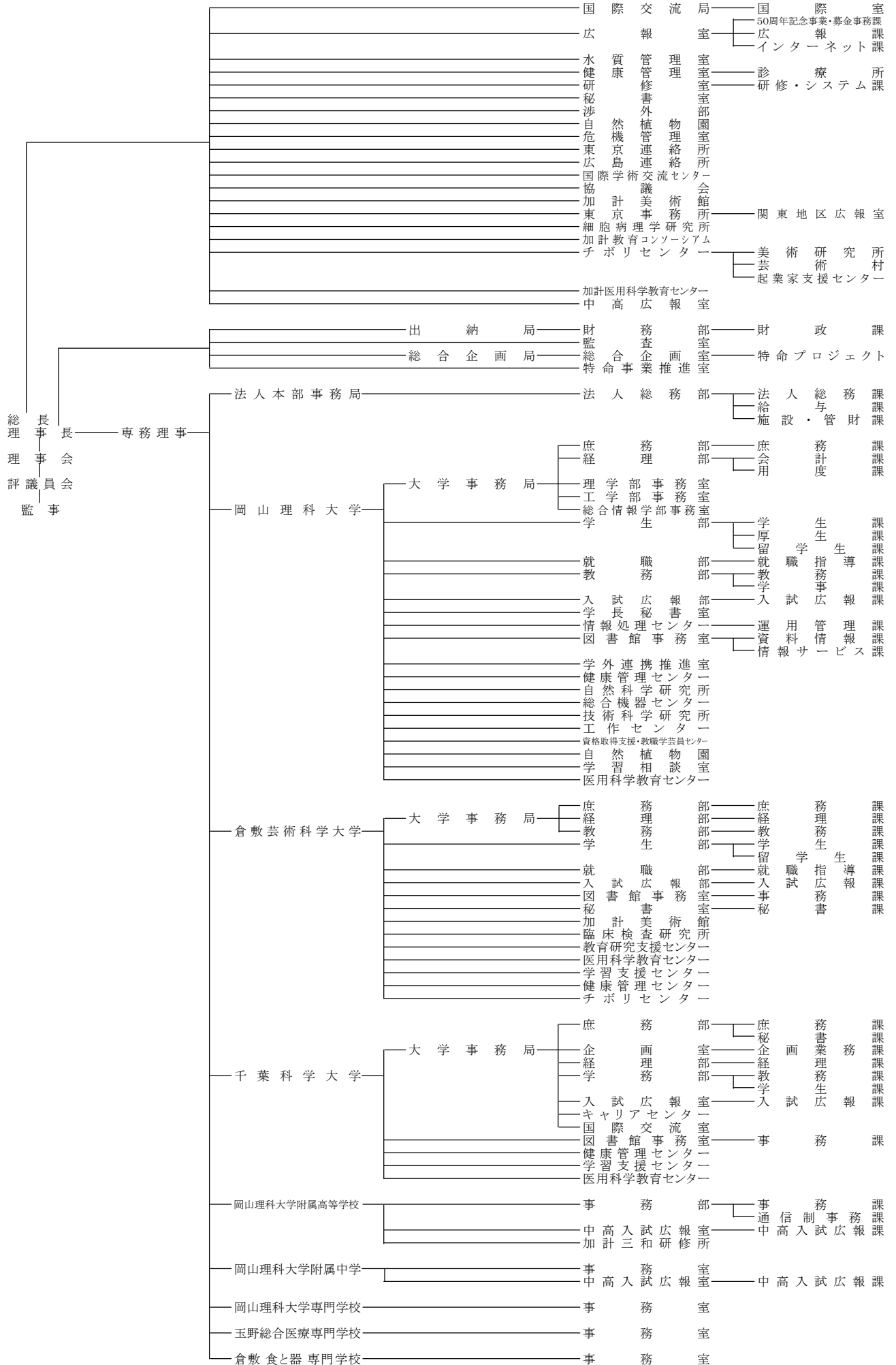
（単位：人）

### 3. 設置校

岡山理科大学 (岡山市理大町1-1)	理学研究科 工学研究科 総合情報研究科 理学部 工学部 総合情報学部
倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)	芸術研究科 産業科学技術研究科 人間文化研究科 芸術学部 産業科学技術学部 国際教養学部 生命科学部 芸術研究科(通信制) 産業科学技術研究科(通信制) 人間文化研究科(通信制) 産業科学技術学部(通信教育課程) 国際教養学部(通信教育課程)
千葉科学大学 (千葉県銚子市潮見町3)	薬科学研究科 危機管理学研究科 薬学部 危機管理学部
岡山理科大学附属高等学校 (岡山市理大町1-1)	全日制課程、通信制課程
岡山理科大学附属中学校 (岡山市理大町1-1)	
岡山理科大学専門学校 (岡山市半田町8-3)	工業専門課程、商業実務専門課程、文化・教養専門課程、 文化・教養一般課程
玉野総合医療専門学校 (玉野市築港1丁目1-20)	医療専門課程、教育・社会福祉専門課程
倉敷 食と器 専門学校 (倉敷市連島町西之浦2640)	衛生専門課程、文化・教養専門課程

# 4. 事務組織図

(平成20年5月1日現在)



## 5. 沿革（抜粋）

- 昭和30年 4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年 9月 学校法人加計学園認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年 4月 岡山電機工業高等学校開校（全日制） 初代校長に神崎栄一郎就任
- 昭和39年 1月 岡山理科大学設置認可  
岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を岡山理科大学附属高等学校と改称
- 4月 岡山理科大学開学（理学部） 初代学長に加計勉就任
- 昭和42年 4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長として、内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程を設置  
岡山理科大学附属高等学校第3代校長として中尾寿夫就任
- 昭和50年 4月 岡山高等建築専門学院設置認可  
5月 岡山高等建築専門学院開校（建築学科夜間部定時制） 初代校長に中尾寿夫就任
- 昭和51年 4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により岡山高等建築専門学校と改称
- 昭和53年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）を設置
- 昭和54年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程に機械理学専攻、電子理学専攻を増設
- 昭和55年 4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任  
岡山理科大学附属高等学校第4代校長として、松本卓三就任  
岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長として片山誠二就任
- 7月 寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に加計勉就任
- 昭和59年 4月 岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
- 昭和61年 4月 岡山理科大学工学部設置  
岡山理科大学附属高等学校第5代校長として、三宅寛就任  
岡山高等建築専門学校を岡山理科大学専門学校と改称
- 平成 2年 4月 岡山理科大学第4代学長に、加計勉就任  
岡山理科大学大学院の理学研究科を改組し、工学研究科を設置
- 平成 4年 1月 岡山理科大学附属高等学校第6代校長として、加計晃太郎就任  
4月 岡山理科大学附属高等学校第7代校長として、渡辺己巳生就任
- 平成 6年12月 倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に谷口澄夫就任
- 平成 7年 4月 倉敷芸術科学大学開学
- 平成 9年 4月 岡山理科大学総合情報学部を増設  
12月 玉野看護福祉総合専門学校設置認可
- 平成10年 4月 玉野看護福祉総合専門学校を開校 初代校長に金政泰弘就任  
岡山理科大学附属高等学校第8代校長として、三木輝知就任  
岡山理科大学専門学校第3代校長として、村上侑就任
- 平成11年 4月 倉敷芸術科学大学第2代学長に土井章就任  
倉敷芸術科学大学大学院開設
- 平成12年 4月 倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更  
岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
- 平成13年 1月 学校法人加計学園第2代理事長・総長に加計晃太郎就任  
4月 岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科設置  
倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に博士（後期）課程設置

- 平成13年 4月 玉野看護福祉総合専門学校を、玉野総合医療専門学校に名称変更  
岡山理科大学第5代学長として、山村泰道就任
- 9月 岡山理科大学附属中学校設置認可
- 平成14年 4月 倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置  
岡山理科大学附属高等学校第9代校長として、北尾正幸就任  
岡山理科大学専門学校第4代校長として、逢坂一正就任  
岡山理科大学附属中学校開校 初代校長として、善木道雄就任
- 平成15年 4月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部（通信教育課程）、国際教養学部（通信教育課程）を設置
- 11月 千葉科学大学設置認可
- 平成16年 3月 倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
- 4月 岡山理科大学第6代学長に宮垣嘉也就任  
倉敷芸術科学大学生命科学部を設置  
倉敷芸術科学大学国際教養学部募集停止  
倉敷芸術科学大学国際教養学部（通信教育課程）募集停止  
千葉科学大学開学 初代学長に平野敏右就任  
倉敷芸術科学大学専門学校開校 初代校長に岡本繁通就任
- 平成17年 4月 倉敷芸術科学大学第3代学長に添田喬就任  
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部起業学科（通信教育課程）募集停止  
岡山理科大学附属高等学校第10代校長に橋爪道彦就任  
岡山理科大学附属中学校第2代校長に新倉正和就任  
岡山理科大学専門学校第5代校長に圓堂稔就任  
玉野総合医療専門学校第2代校長に岡田茂就任
- 平成18年 4月 千葉科学大学薬学部薬学科を4年制から6年制に変更
- 平成19年 4月 岡山理科大学工学部生体医工学科を設置  
岡山理科大学総合情報学部建築学科を設置  
岡山理科大学工学部電子工学科を電気電子システム学科に名称変更  
岡山理科大学総合情報学部コンピュータシミュレーション学科募集停止  
倉敷芸術科学大学専門学校第2代校長に伊藤敏夫就任
- 平成20年 4月 岡山理科大学理学部動物学科設置  
岡山理科大学大学院理学研究科修士課程臨床生命科学専攻設置  
倉敷芸術科学大学芸術学部美術工芸学科、デザイン学科設置  
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部観光学科設置  
倉敷芸術科学大学芸術学部映像・デザイン学科をメディア映像学科に名称変更  
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部コンピュータ情報学科をIT科学科に名称変更  
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部起業学科を起業経営学科に名称変更  
倉敷芸術科学大学生命科学部生命医科学科設置  
千葉科学大学薬学部動物生命薬科学科設置  
千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科設置  
岡山理科大学附属高等学校電気情報科設置  
倉敷芸術科学大学専門学校を倉敷 食と器 専門学校に名称変更
- 6月 千葉科学大学危機管理学部動物・環境システム学科、医療危機管理学科設置届出
- 12月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部コンピュータ情報学科（通信教育課程）名称変更届出

### Ⅲ. 各事業の概要

#### 1. 法人全体に関すること

- (1) 加計グループ創立者加計勉名誉理事長が平成20年4月30日に逝去されたため、6月28日、お別れ会が加計記念体育館で執り行われ、県内外の教育関係者3,500名が参列し、最後の別れを借しました。本学園では創立者が生涯をかけて教育の“道”を一筋に歩まれた遺徳を偲び、4月30日を創立者の日として創設いたしました。
- (2) 学園広報室が中心となり、全ての教職員対象に広く広報のアイデアを募り、広報戦略に役立てました。約30件のアイデアの提出があり、各広報室に開示しています。
- (3) 職員研修に力を入れ、学園職員の能力向上と意識の向上に努めました。平成20年度学園研修会を延7回開催し、その他、研修報告会や講演会等、職員研修の充実に努めました。また、学園教学改革を研修会を通して推進しました。これは、8設置校が各々の特色を活かしながら縦横に繋がりをもち、そのスケールメリットを発揮することによって、あらゆる教育の機会を提供し、生涯に亘る学び舎となるための改革です。平成22年度までに各設置校はコンセプトと事業計画を策定する予定です。
- (4) 岡山厚生年金健康福祉センター「サンピア倉敷」が社会保険庁の年金財源確保の一環で売却決定されたので、倉敷芸術科学大学キャンパスに隣接しており、体育施設、厚生施設として利用するため入札し、当該施設を落札しました。
- (5) 学園東門までバスを運行し学生・生徒の利便性を図るため、バス進入路を整備しました。
- (6) 組織の効率化を図るため、総務課の業務の一部を給与課に移管、かつ総務課と法人課を統合して法人総務課とし、それに伴い総務部の名称も法人総務部としました。
- (7) 附属高等学校と附属中学校にそれぞれ中高入試広報室を設置し、総長直轄機関である中高広報室と連携しながら広報活動の充実に努めました。
- (8) 世界的経済不況の影響でリストラや家計の急変により大学進学を断念せざるを得ない受験生に対し、経済的な支援を緊急に行うための「緊急奨学支援制度」を設け、3大学で実施しました。
- (9) 倉敷チボリ公園の閉園に伴い、チボリセンターを廃止しました。

#### 2. 50周年記念事業関係

##### (1) 建設事業小委員会の部

- ①岡山理科大学の門の建設計画を行いました。(平成21年度設置予定)
- ②電光掲示板の設置計画を行いました。(平成21年度設置予定)
- ③名誉理事長の銅像の製作計画を行いました。(平成23年度設置予定)
- ④50周年記念館の建設計画を行いました。(平成23年度建設予定)

##### (2) イベント開催小委員会の部

- ①ロゴマーク及び、キャッチフレーズを決定し、名刺等印刷物に印刷しました。
- ②50周年を周知してもらうためのポスターを作成しました。

##### (3) 出版物小委員会の部

機関紙(50周年へGoGo!)の第3号および、第4号の作成と配布を行いました。

##### (4) 基金・募金事業小委員会の部

募金趣意書・寄付申込書等を作成し、学生・生徒・教職員・OB・父兄・取引企業・OB就職先企業などを対象に募金趣意書を発送しました。

平成20年度における寄付件数は、1,130件で、計33,231,091円の寄付金を受入れました。



### 3. 特命事業関係

(1) 今日の私学経営の厳しい現状に鑑み、多様な財源確保方策の一環として学園出資会社「株式会社K2ライフラボ」においては学園との連携のもと各種事業を展開いたしました。

その主なものとして

- ① 学園業務のアウトソーシングの受皿機能を担い、学園経費抑制、コア業務への職員の集中化、スリム化に資するために、
  - ・設置校業務に係る受託事業を展開しました。
  - ・消耗品調達事務の簡素化のために民間企業とのタイアップによりWeb消耗品調達システムを構築し、平成21年度から各設置校での導入を可能といたしました。
- ② 学園の人的、知的資源を活用した社会還元事業として、
  - ・昨年に引き続き化粧品開発販売事業を展開いたしました。
  - ・好適環境水については観賞魚業界大手との提携により新商品開発を行い次年度に発売予定となりました。養殖事業への応用には今後更にラボレベルから大型施設による実証化の段階にあり、今後の技術開発、ノウハウの蓄積が期待されます。
  - ・特許権、著作権に絡む事業として亜塩素酸、及びe-ラーニング事業については数は少ないものの事業採択に至ったものがありました。(水族館・戦略GP)
- ③ 学生、教職員等に対する支援事業としてレンタル事業(袴・生活用品等)、各種販売事業の展開を行いました。

(2) 各種事業を展開して参りましたが、全体的には、各事業とも先行投資の段階であり、今後とも本格的な事業展開が必要とされます。

### 4. 国際交流関係

(1) 教育交流協定の状況

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、吉林国際語言文化学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市民族文化芸術職業学校、北京市求实職業学校 (留学生募集に関する提携校：内モンゴル省智力引進外語専修学院、北京平成日本語学校、山東青島さくら日本語学校、成都瀨川日本語学校)	15校
韓国	慶一学園、金剛学園(永同大学、亨硯高校)、鶴山学園(東ソウル大学) 金龍学園(徳園女子高校)(徳園芸術高校)、桂林学園(正明高校)、清錫学園(清州大学)、純心教育財団(純心高校)、湖西学園(湖西大学)、江原大学、金泉大学、韓国防災協会	11校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稻江科技暨管理学院、稻江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理技術学院、海山高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、カリフォルニア大学バークレー校、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学	6校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・パトリック・ラヤ	3校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科大学造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	ブリュッセル自由大学、アントワープ王立美術アカデミー	2校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
タイ	パトゥムワン・デモンストレーション・スクール	1校
フィリピン	フィリピン国立大学ロスバニニョス校	1校

(2) 教育交流協定校との交流プログラム

受け入れ

- ① (中国) 成都瀬川日本語学校校長が来学 (H20. 4. 9～4. 11)
- ② (中国) 山東青州さくら日本語学校が来学 (H20. 5. 28～5. 30)
- ③ (台湾) 台湾支局長及びPTA計7名が来学 (H20. 6. 14～6. 19)
- ④ (中国) 内蒙古智力引進外国語専修学院 周ほう伯  
(韓国) 慶一学園女子高校校長 計3名  
(台湾) 南台科技大学 日本語学科長  
(アメリカ) フィンドリー大学 原田教授、「お別れの会」に海外 (H20. 6. 28)
- ⑤ (アメリカ) フィンドリー・ライト大学学生訪日研修団が来学 (H20. 6. 28～7. 17)
- ⑥ (ブラジル) パラナ連邦大学・カトリカ大学学生訪日研修団が来学 (H20. 6. 27～7. 17)
- ⑦ (台湾) 崇右技術学院学長が来学 (調印式のため) (H20. 7. 13～7. 16)
- ⑧ (韓国) 慶一学園高校生訪日研修団が来学 (H20. 7. 21～7. 24)
- ⑨ (アメリカ) ライト大学仕事体験生計3名が来学
- ⑩ (韓国) 湖西大学教員等計10名が来学 (H20. 8. 22)
- ⑪ (中国) 成都瀬川日本語学校校長が来学 (H20. 10. 6)
- ⑫ (中国) 河南科技大学副学長等計4名が来学 (H20. 11. 4～11. 6)
- ⑬ (中国) 北京城市学院学生訪日研修団が来学 (H21. 2. 3～2. 12)
- 学生海外研修団派遣
- ⑬アメリカ研修 (ライト大学) (H20. 8. 8～8. 26)
- ⑬ブラジル研修 (パラナ連邦大学、パラナ・カトリカ大学) (H20. 8. 11～9. 1)
- ⑭台湾研修 (稲江科技暨管理学院) (H20. 8. 23～9. 7)
- ⑮アメリカ研修 (フィンドリー大学) (H20. 8. 19～9. 11)

(3) その他

- ①加計学園広報室海外支局長会議 (H20. 4. 5)
- ②加計学園広報室海外支局長会議 (H20. 11. 13)

(4) 留学生在籍者数

(平成20年5月1日)

大 学 名	人数	国 籍 別
岡山理科大学	大学院	11 中国5、韓国3、ベトナム2、マレーシア1
	学 部	66 中国56、韓国8、マレーシア2
	研究生	1 中国1、
	計	78 中国62、マレーシア3、韓国11、ベトナム2
倉敷芸術科学大学	大学院	7 中国7
	学 部	102 中国95、スリランカ2、韓国2、ベトナム1、カンボジア1、インドネシア1
	別 科	33 中国26、スリランカ3、ベトナム2、台湾1、ネパール1
	研究生	3 韓国2、台湾1
	計	145 中国128、スリランカ5、韓国4、ベトナム3、台湾2、カンボジア1、インドネシア1、ネパール1
千葉科学大学	大学院	2 中国2
	学 部	118 中国87、韓国21、スリランカ7、ミャンマー2、コンゴ民主共和国1
	研究生	1 中国1
	計	121 中国90、韓国21、スリランカ7、ミャンマー2、コンゴ民主共和国1、

5. 受託研究、共同研究、科学研究費補助金

(平成20年度)

学部等名	受託 研究	共同 研究	科学研究費補助金 ※	
			件数	補助金額
<b>岡山理科大学</b>	<b>29件</b>	<b>16件</b>	<b>37件</b>	<b>111,282,000円</b>
理学部	15件	6件	18件	27,140,000円
工学部	10件	9件	11件	32,922,000円
総合情報学部	4件	1件	6件	10,270,000円
附属施設			2件	40,950,000円
<b>倉敷芸術科学大学</b>	<b>3件</b>	<b>6件</b>	<b>4件</b>	<b>6,435,000円</b>
芸術学部	1件		1件	1,820,000円
産業科学技術学部		6件	1件	1,820,000円
生命科学部	2件		2件	2,795,000円
<b>千葉科学大学</b>	<b>6件</b>	<b>1件</b>	<b>14件</b>	<b>22,464,000円</b>
薬学部	2件		11件	20,904,000円
危機管理学部	4件	1件	3件	1,560,000円
<b>岡山理科大学専門学校</b>	<b>4件</b>			
<b>倉敷食と器専門学校</b>	<b>2件</b>			

※研究代表者として採択を受けたもののみ

### 3. 決算概要

#### (1) 資金収支計算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	14,673,001,344
手数料収入	234,994,975
寄付金収入	128,994,691
補助金収入	2,318,631,797
資産運用収入	345,682,367
資産売却収入	0
事業収入	112,401,777
雑収入	368,855,613
借入金等収入	411,630,000
前受金収入	2,380,966,000
その他の収入	1,347,174,530
資金収支調整勘定	△ 2,548,941,090
前年度繰越支払資金	18,975,241,101
計	38,748,633,105

支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費支出	11,410,339,028
教育研究経費支出	3,759,657,815
管理経費支出	1,242,294,650
借入金等利息支出	211,386,678
借入金等返済支出	950,879,400
施設関係支出	479,160,950
設備関係支出	304,361,257
資産運用支出	42,299,459
その他の支出	944,405,602
資金支出調整勘定	△ 539,112,710
次年度繰越支払資金	19,942,960,976
計	38,748,633,105

#### (2) 消費収支計算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

消費収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金	14,673,001,344
手数料	234,994,975
寄付金	185,630,781
補助金	2,318,631,797
資産運用収入	345,682,367
資産売却差額	0
事業収入	106,304,344
雑収入	368,855,613
帰属収入合計	18,233,101,221
基本金組入額合計	△ 157,277,599
消費収入の部合計	18,075,823,622

消費支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費	11,417,524,796
教育研究経費	5,734,335,686
管理経費	1,758,990,529
借入金等利息	211,386,678
資産処分差額	120,852,181
徴収不能額	16,671,772
消費支出の部合計	19,259,761,642
当年度消費支出超過額	1,183,938,020
前年度繰越消費支出超過額	5,494,665,504
翌年度繰越消費支出超過額	6,678,603,524

## (3) 貸借対照表 (平成21年3月31日)

資産の部 (単位:円)

科 目	金 額
固定資産	63,540,104,501
有形固定資産	57,186,824,576
その他の固定資産	6,353,279,925
流動資産	21,277,471,809
資産の部合計	84,817,576,310

負債の部 (単位:円)

科 目	金 額
固定負債	12,046,476,915
流動負債	3,842,579,579
負債の部合計	15,889,056,494

基本金の部 (単位:円)

科 目	金 額
基本金の部合計	75,607,123,340

消費収支差額の部 (単位:円)

科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	△ 6,678,603,524
消費収支差額の部合計	△ 6,678,603,524
科 目	金 額
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	84,817,576,310

## (4) 財産目録 (平成21年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額
<b>一資産額</b>	
(一) 基本財産	63,273,202,531
1. 土地	15,339,074,322
借地権	388,140,000
2. 建物	27,717,113,748
(1)校舎	21,887,542,392
(2)図書館	419,570,407
(3)体育館	2,650,386,754
(4)寄宿舍	413,716,609
(5)倉庫	24,644,703
(6)その他	2,321,252,883
3. 建設仮勘定	111,995,800
4. 構築物	2,237,011,855
5. 図書	6,380,000,027
6. 教具・校具・備品	5,392,524,738
7. 車両運搬具	9,104,086
8. 積立金	3,498,237,955
9. 特定資産	2,200,000,000
(二) 運用財産	21,544,373,779
1. 預金、現金	19,942,960,976
2. 出資金	68,059,400
3. 有価証券	979,333,477
4. 未収金	280,260,856
5. 長期貸付金	0
6. 仮払金	8,597,080
7. 差入保証金	198,842,570
8. 前払金	63,983,935
9. 貯蔵品	2,335,485
合 計	84,817,576,310
<b>二負債額</b>	
1. 固定負債	12,046,476,915
(1)長期借入金	10,655,653,500
(2)学校債	7,680,000
(3)退職給与引当金	1,383,143,415
2. 流動負債	3,842,579,579
(1)短期借入金	528,648,400
(2)学校債	5,240,000
(3)未払金	459,103,429
(4)前受金	2,380,966,000
(5)預り金	453,592,412
(6)仮受金	15,029,338
合 計	15,889,056,494

## (5) 財務比率

消費収支計算書及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示しました。

区 分		17年度	18年度	19年度	20年度	
分類	比 率	算式 (×100)				
貸 借 対 照 表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$	△4.8%	△5.9%	△6.4%	△7.9%
	基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	85.5%	86.0%	86.5%	87.0%
	固定比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 金}}$	97.6%	96.3%	93.6%	92.2%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	82.1%	81.3%	79.4%	78.5%
	流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	456.3%	500.8%	568.0%	553.7%
	前受金保有率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{前 受 金}}$	624.4%	721.2%	840.0%	837.6%
	総負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 産}}$	19.9%	19.4%	18.8%	18.7%
	負債率	$\frac{\text{総負債-前受金}}{\text{総 資 産}}$	17.1%	16.5%	16.2%	15.9%
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{基本金要組入額}}$	80.7%	80.1%	80.2%	79.3%
消 費 収 支 計 算 書	人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	47.7%	58.9%	60.6%	62.6%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{消 費 支 出}}$	32.5%	30.5%	30.2%	29.8%
	管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.6%	8.9%	8.6%	9.6%
	消費支出比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	83.5%	100.3%	101.1%	105.6%
	【経常経費依存率】	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	120.0%	123.6%	122.6%	131.3%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	69.6%	81.2%	82.5%	80.5%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.8%	0.7%	0.8%	1.0%
	補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	26.3%	13.6%	11.5%	12.7%
	基本金組入率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	22.3%	4.8%	0.6%	0.9%

# 学校法人 加計学園 平成20年度事業報告 【岡山理科大学】

## I. 事業の概要（総括）

### 《申請関係》

- (1) 大学院工学研究科知能機械工学専攻（修士課程）の設置届を提出しました。また、同専攻の教員課程認定申請を行いました。
- (2) 工学部に、学科横断型の教育を行う「工学プロジェクトコース」および化粧品開発分野の人材養成を行うバイオ・応用化学科のコスメティックサイエンスコースを開設するため学則変更届を提出しました。
- (3) 工学部情報工学科でJ A B E Eの認定申請を行いました。
- (4) 教育職員免許法の改正に伴い平成21年4月より教員免許更新制が導入されるため、教員免許更新講習の開設申請を行いました。
- (5) 設置基準の改正により、学部、学科、研究科、専攻ごとの教育研究上の目的を学則に明記し、公表するよう学則変更届を提出しました。

### 《人事・組織》

- (1) 平成20年4月より新学長として波田善夫教授が就任しました。  
副学長は、管理運営担当に金枝敏明教授、教育研究担当に豊田真司教授が就任しました。  
また、理学部長には林宏哉教授、工学部長には堂田周治郎教授（再任）、総合情報学部長には関達也教授が就任しました。  
なお、研究科長は、岡山理科大学大学院研究科長選考に関する申し合わせに基づき、学部長が兼務しています。

## II. 大学の概要

### 1. 学生の定員現員数

(平成20年5月1日現在)

研究科・学部・学科等		定員数		現員数				
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	合計
大学院	理学研究科(修士)	76	143	87	81	—	—	168
	"    (博士)	13	39	2	5	6	—	13
	工学研究科(修士)	61	129	43	41	—	—	84
	"    (博士)	5	15	4	0	1	—	5
	総合情報研究科(修士)	25	52	32	36	—	—	68
	"    (博士)	2	6	1	2	7	—	10
	計	182	384	169	165	14	—	348
理学部	応用数学科	85	340	108	106	118	96	428
	化学科	75	305	55	77	66	76	274
	応用物理学科	70	295	48	57	68	71	244
	基礎理学科	75	315	54	75	91	102	322
	生物化学科	85	355	100	111	114	112	437
	臨床生命科学科	85	335	93	103	93	112	401
	動物学科	40	40	62	—	—	—	62
	計	515	1,985	520	529	550	569	2,168
工学部	バイオ・応用化学科	75	335	81	63	69	73	286
	機械システム工学科	85	350	62	91	86	93	332
	電気電子システム学科	70	320	44	67	58	76	245
	情報工学科	85	390	90	110	123	87	410
	福祉システム工学科	—	—	—	—	2	—	2
	知能機械工学科	60	270	38	42	34	63	177
	生体医工学科	60	120	38	52	—	—	90
	計	435	1,785	353	425	372	392	1,542
総合情報学部	情報科学科	80	340	66	84	72	95	317
	コンピュータシミュレーション学科	—	80	—	—	21	25	46
	生物地球システム学科	70	310	65	74	73	92	304
	社会情報学科	70	280	96	71	66	46	279
	建築学科	80	160	55	56	—	—	111
	計	300	1,170	282	285	232	258	1,057
(学部計)		1,250	4,940	1,155	1,239	1,154	1,219	4,767
	理学専攻科	30	30	0	—	—	—	0
	教職特別課程	50	50	9	—	—	—	9
合計		1,512	5,404	1,333	1,404	1,168	1,219	5,124

(単位：人)

### 2. 学年暦

	春季休業	入学宣誓式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	学位記授与式
岡山理科大学	4月1日 ～4月4日	4月3日	8月2日 ～9月19日	12月24日 ～1月7日	3月4日 ～3月31日	3月20日



### Ⅲ. 各事業の概要

#### 1. 教育・研究活動の進捗状況

##### 《教育関係》

- (1) 理学部に動物学科を開設しました。
- (2) 工学部バイオ・応用化学科に好適環境水に関係したアクアバイオコースを開設しました。
- (3) 大学院理学研究科に臨床生命科学専攻を開設しました。
- (4) 数学教育センター相談室を改組し、学習相談室として25号館5階フロアにオープンしました。
- (5) 平成19年度の大学院WEBシラバス化に続き、学部においてもWEBシラバスの運用を開始しました。
- (6) 教育環境の整備やFD活動の充実に努めました。  
包括的連携協力の一環として、岡山大学の協力を得て、12/4(木)FD講演会を開催しました。
- (7) 日本マレーシア高等教育大学連合プログラム(JAD)(3年次編入)による留学生を受け入れました。
- (8) 留年生や単位不足学生への就学指導の充実に努めました。
- (9) 小中学校等における学習支援、災害援助支援、清掃奉仕、防犯活動支援等のボランティア活動を行った学生に対し、申請に基づき単位認定しました。

##### 《研究関係》

- (1) ハイテク・リサーチ・センター整備事業  
工学研究科の大寺純蔵教授を研究代表者として、平成18年度から新規3年計画で開始され、平成20年度で事業が終了しました。
- (2) オープン・リサーチ・センター整備事業  
自然科学研究所の板谷徹丸教授を研究代表者として、平成17年度から新規5年計画で開始し、平成20年度で4年目が終了しました。
- (3) 社会連携研究推進事業  
工学研究科の金枝敏明教授を研究代表者として、平成18年度から新規5年計画で開始し、平成20年度で3年目が終了しました。

##### 《学外連携》

- (1) 外部研究資金の獲得の推進、共同研究や受託研究をコーディネートします。
  - ① 科研費 37件 111,282千円
  - ② 共同研究 19件 12,090千円
  - ③ 受託研究 28件 97,240千円
  - ④ 競争的助成金 25件 52,841千円
- (2) 「OUSフォーラム2008」を岡山で開催する他、東京、大阪においても研究シーズの公開の企画を行ないました。
  - ① 「OUSフォーラム2008」の開催 (H20.11.21; 岡山(於))
  - ② 「新技術説明会」での発表 2名 (H20.7.25、11.18; 東京(於))
  - ③ 「岡山リサーチパーク研究・展示発表会」参加 (H21.2.6; 岡山(於))
  - ④ 「産業技術交流マッチング」での発表
- (3) 「特許セミナー」(特許相談会含む)を開催し、教員の研究成果の知的財産化の推進をしました。

本学出願特許による民間企業への有償技術移転2件

「特許セミナー」を2回開催(特許相談会も併せて開催)

- (4) 岡山県主催「100研究室訪問」に協力し研究室及び研究機器等を外部へ公開しました。
- (5) 岡山県主催「100社訪問」や金融機関の取引企業との交流会に参加し、学内研究者の地域産業界との交流を推進しました。
- ①岡山県主催 100社訪問参加 月2回開催
- ②㈱日本政策金融公庫 岡山支店 中小企業事業の交流会参加
- ③おかやま信用金庫主催の交流会参加
- (6) 岡山県教育委員会の委託公開講座（生涯学習大学；8日間延べ16講座）及び連携講座）を開講しました。
- H20.8.30からH20.11.1の間、毎週土曜日に開講。受講者18名（定員20名）。
- (7) 科学研究費補助金等の公的研究資金及びその他の研究費助成金公募の申請、報告ならびに私立大学学術研究高度化推進事業の予算計画、報告業務を取り纏めました。
- また、公的研究資金の不正使用防止の取組のため、研修会、物品検収を行ないました。
- (8) 大学教育改革支援事業応募の申請を行ないました。
- ①文部科学省管轄委託事業補助金「戦略的大学連携支援事業」（戦略GP：岡山大学、岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、津山工業高等専門学校との連携による）に採択されました。
- （3年計画）
- ②文部科学省管轄委託事業補助金「質の高い大学教育プログラム」（教育GP：理大発科学ボランティアリーダー）に採択されました。（3年計画）
- その他、文部科学省管轄委託事業補助金「科学技術振興調整費」（おかやま医療機器開発プロフェッショナル）（工学部生体医工学科主体）（5年計画）に採択されました。
- また、文部科学省管轄委託事業「産学官連携戦略展開事業」（中国地方の大学連携岡山県から岡山大学、岡山理科大学、美作大学、津山工業高等専門学校が参加）と経済産業省管轄委託事業「地域イノベーション創出共同体形成事業」（中国地方の官庁、企業、大学で連携）にも参加しました。
- (9) 岡山県16大学が参加する「大学コンソーシアム岡山」の幹事大学として事務局を設置しました。
- (10) 国立大学法人岡山大学等と包括的連携・協力の協定を締結しました。
- （平成20年6月23日協定締結）
- (11) 世界遺産の屋久島において、自然保護と教育・研究活動の推進を図り、フィールド系の人材育成や自然インタープリター（解説者）の養成を行うため、屋久島野外活動総合センター(有)と岡山理科大学との間で連携協力に関する協定を締結しました。（平成20年11月11日）

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成20年5月1日現在)

		入 学 者	留 学 生	社 会 人
大学院	博士	7	2	0
	修士	162	4	0
学部		1155	27	0
専攻科		0	0	0
教職課程		9	0	0

(単位：人)

卒業者数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

		卒 業 了 者 ・ 者	退 学 者	満 期 退 学 者	除 籍 者	休 学 者	留 年 者 ※
大学院	博士	7	0	3	0	1	2
	修士	148	10	0	2	1	5
学部		1190	115	0	12	44	183
専攻科		0	0	0	0	0	0
教職課程		9	0	0	0	0	0

※ 修業年限を超えて在籍している学生数

(単位：人)

## 2. 学生の募集・広報

### 《入試》

- (1) 加計学園特待生推薦入試(新設の3大学合同の推薦入試)を12月14日に実施し105名の志願者で27名の入学がありました。
- (2) 世界的経済不況の中リストラや家計の急変により、大学進学を断念せざるを得ない受験生に対し、経済的な支援を緊急に行うため、3大学同時に以下の事業を実施しました。

- a) 「緊急奨学支援制度」の設置
- b) 「加計学園緊急経済支援特別入試」の実施

### 《広報》

- (1) 加計学園特待生推薦入試、一科目の一般入試前期B1入試の新規導入等の寄与もあり志願者数をほぼ前年並みとしました。3969名(昨年4005名、対前年99%)

### 3. 就職活動状況

#### ■就職支援内容について

- (1) 就職ガイダンスについては、3年次生の5月末より第1回を行い2月までに計6回実施しました。
- (2) 低学年から就職意識の向上を目的として低学年対象の進路・就職ガイダンスを行いました。1年次生には4月の新入生オリエンテーション期間中に1回、2年次生には6月、11月、12月と3回実施しました。
- (4) 求人情報を広く収集し、今年度は全国から求人情報3862件(昨年度3863件)の求人がありました。求人情報は、例年すべてデータ入力を行い、学生が希望の条件で検索できるようにしています。また、地域ごとに求人票およびパンフレットを保存し学生が自由に閲覧ができるように整備しています。
- (5) 就職部ホームページで学生に就職支援情報を告知しました。求人情報3862件、学内・学外会社説明会情報などを掲載し、学生に広く情報を提供しました。
- (6) 学生向けに広く情報を提供するため、大学のメーリングリストを利用し、求人情報・ガイダンスやセミナーの案内をメール配信しました。
- (7) 学生の企業研究等に役立てるため、約10万件の企業情報を更新しました。

#### ■就職内定率および就職内定率の推移(2009年4月1日現在)

- (1) 平成20年度の就職内定率は全体で93%(昨年比-4%)となりました。
- (2) 学部別では理学部94%、工学部94%、総合情報学部89%となり、大学院全体では96%となっています。
- (3) 地域別就職先では関東24%、東海7%、近畿20%、岡山24%でいずれの地域も昨年度とほぼ同率となりました。

#### 4. 財務関係

##### 主な収入及び支出

(単位：千円)

年 度 科 目	19年度決算額	20年度決算額
学 納 金 収 入	7,761,787	7,350,813
補 助 金 収 入	1,186,642	1,026,461
そ の 他 収 入	490,883	511,541
帰 属 収 入 合 計	9,439,312	8,888,815
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 80,064	△ 83,962
消 費 収 入 の 部 合 計	9,359,248	8,804,853
人 件 費	5,403,545	5,204,374
教 育 研 究 経 費	2,849,372	2,808,908
管 理 経 費	525,034	597,845
そ の 他 支 出	150,481	159,109
消 費 支 出 の 部 合 計	8,928,432	8,770,236

##### ○収支改善対策の具体的取組と効果

18歳人口の減少により、従来の入学者数の確保が困難となっており、学生生徒等納付金収入の増額が見込めない状況となってきています。今後は、学生生徒等納付金収入のみに頼らない財務体質を目指し、各種補助金や科学研究費補助金等への申請や企業との合同研究、受託研究、寄付金等の外部資金を積極的に獲得するように全学的に取り組みました。

また、支出削減策として下記の3事項を実施しました。

1. 学生数に対する教員定員の削減、大学院役職者の兼務等を実施し、人件費の支出抑制に努めました。
2. 研究費等の支出抑制のため予算決定後でも、入学者数が明確になった時点で配分予算について再審議し、実際の収入額に見合った配分に努めました。
3. 「大学院特待生」・「留学生学習奨励費」制度の見直しを手始めに、奨学費支出全体の削減に向けた検討を行っています。

《施設・設備》

(1) 施設関係	(千円)
① 第一学舎4階北側講義室改装工事を実施しました。	11,573
② 4号館屋上防水修繕工事を実施しました。	9,400
③ 第一学舎1・2階女子トイレ改修工事を実施しました。	12,721
④ 第二学舎エアコン改修工事を実施しました。	29,201
⑤ 第二学舎屋上防水修繕工事を実施しました。	5,700
⑥ 7号館3から4階中間部内部階段、トイレ改修工事を実施しました。	6,386
⑦ 11号館空調(冷暖房)設備新機種への改修(電気設備・取合改修工事)を実施しました。	20,320
⑧ 22号館北側樹木伐採及び金網取付工事を実施しました。	950
⑨ 笹ヶ瀬駐車場整備工事を実施しました。	14,729
⑩ 20号館2階動物実験教員実験室改修工事(科研費間接経費)を実施しました。	2,600
⑪ 10学舎外周整備工事を実施しました。	2,000
⑫ 25号館1階岡山理科大学トラベルセンター開設に伴う改修工事を実施しました。	2,000
⑬ 土地購入(岡山市北区津島東)をしました。	6,750
(2) 装置・設備関係	
① 11号館図書館の電動書架64台駆動部(電動機器一式)機種改修を行いました。	12,700
② サイバーキャンパス基盤ネットワークシステム(情報処理センター)	63,630
③ 工学部共通コース実施に伴うシステム改修(教務部)を行いました。	3,800
④ 工学部共通コース実施に伴うシステム改修(入試広報部)を行いました。	5,300
⑤ 全室素分析装置を購入しました。	6,900
⑥ 水銀測定装置を購入しました。	2,460
⑦ 淡水化混泳八角水槽を購入しました。	6,820
(3) 届出・申請補助事業関係	
① 工学部生体医工学科 学術雑誌(創設費)	810
② 総合情報学部 建築学科・学術雑誌(創設費)	745
③ 理学部新設学科(理学部動物学科)校舎(来年度竣工のため建仮のみ)	31,500
④ 理学部新設学科(理学部動物学科)機器・器具	13,707
⑤ ハイテク・リサーチ・センター共同研究費	60,216
⑦ オープン・リサーチ・センター共同研究費	26,632
⑧ 社会連携研究推進事業共同研究費	66,688

# 学校法人 加計学園 平成20年度事業報告 【 倉敷芸術科学大学 】

## I. 事業概要（全般）

### 《申請関係》

平成21年度に向けて、志願者の多い生命科学科を45名に、生命動物科学科を65名に、生命医科学科を45名に、観光学科を45名に定員増し、美術工芸学科を40名に、デザイン学科を30名に、IT科学科を30名に定員減する定員変更をしました。通信教育課程についても「数学」の教員免許状取得できるよう大幅なカリキュラム変更しました。

留学生別科（1年コース30名、1年半コース10名）の定員変更並びに神戸留学生別科（1年コース60名、1年半コース40名）を開設する届出を行いました。

### 《人事》

改組、新設した芸術学部美術工芸学科、デザイン学科、産業科学技術学部観光学科、生命科学部生命医科学科に学科主任、新設する学習支援センター、健康管理センターにセンター長の役職を設けました。

### 《教育研究計画》

- (1) 学習支援センターを設置し、入試の多様化などにより基礎学力が不足している学生に不得意科目の学習を支援して、専門知識の修得に努めるよう学生のサポート体制を整えました。
- (2) 開学して14年目となるため、施設・設備の修繕等の必要が生じており、年次計画により修繕・設備の更新を行ないました。
- (3) 文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）に採用された3年計画の取組が終了しました。（実施期間：18年度～20年度 総事業費17,630千円）
- (4) 文部科学省へ岡山大学、岡山理科大学、津山工業高等専門学校と連携して申請した「戦略的大学連携支援事業」が採択され、「科学Tryアングル岡山」を組織し、連携大学と共に年次計画をもとに取り組んでいます。（実施期間：20年度～22年度 20年度事業費76,000千円）

### 《組織関係》

留学生室を学生部に統合して学生部留学生課とし、会計課と用度課を統合して経理部経理課としました。

## II. 大学の概要

### 1. 学生の定員現員数

(平成20年5月1日現在)

研究科・学部・学科等			定員数		現員数					
			入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	合計	
通 院	大 学	芸術研究科(修士)	20	40	16	8	—	—	24	
		"          (博士)	4	12	2	1	2	—	5	
		産業科学技術研究科(修士)	16	32	5	15	—	—	20	
		"          (博士)	4	12	1	1	4	—	6	
		人間文化研究科(修士)	15	30	5	3	—	—	8	
大学院 計			59	126	29	28	6	—	63	
学 制	学 部	美術学科	—	120	—	42	42	40	124	
		美術工芸学科	45	45	46	—	—	—	46	
		メディア映像学科	30	150	24	41	53	35	153	
		工芸・デザイン学科	—	110	—	19	35	46	100	
		計	35	35	34	—	—	—	34	
	計	110	460	104	102	130	121	457		
	産 業 科 学 部	I T 科学科	40	220	23	30	57	47	157	
		生命化学科	—	—	—	—	—	—	—	
		起業経営学科	30	140	35	36	29	28	128	
		観光学科	40	40	49	—	—	—	49	
	計	110	400	107	66	86	75	334		
	国 際 教 養 学 部	教養学科	—	—	—	—	—	—	—	
		起業学科	—	—	—	—	—	1	1	
		計	—	—	—	—	—	1	1	
	生 命 科 学 部	生命科学科	40	330	57	91	113	114	375	
健康科学科		60	230	61	70	67	69	267		
生命動物科学科		60	168	67	83	50	—	200		
生命医科学科		40	40	39	—	—	—	39		
計	200	768	224	244	230	183	881			
学部 計			420	1,628	435	412	446	380	1,673	
通学制 計			479	1,754	464	440	452	380	1,736	
信 制	大 学 院	芸術研究科(修士)	10	20	3	6	—	—	9	
		産業科学技術研究科(修士)	20	40	0	0	—	—	0	
		人間文化研究科(修士)	30	60	3	5	—	—	8	
	通信制大学院 計			60	120	6	11	—	—	17
	学 部	産業科	コンピュータ情報学科	200	1,300	6	5	10	17	38
学技術		起業学科	—	—	—	—	—	—	—	
計	200	1,300	6	5	10	17	38			
部	国際教	起業学科	—	—	—	—	—	—		
計	200	1,300	6	5	10	17	38			
通信制 計			260	1,420	12	16	10	17	55	
留学生別科			30	30	33				33	
合 計			769	3,204	509	456	462	397	1,824	

(単位：人)

### 2. 学年暦

	春期休業	入学宣誓式	夏期休業	冬期休業	学年末休業	学位記授与式
倉敷芸術科学大学	4月1日 ～4月4日	4月5日	8月3日 ～9月23日	12月19日 ～1月7日	3月4日 ～3月31日	3月23日



### Ⅲ. 各事業の概要

#### 1. 教育・研究活動の進捗状況

- (1) 通信教育課程は、コンピュータ情報分野だけでなく、芸術デザイン分野、健康管理分野、起業経営分野の科目を取り入れて、生涯学習や自己研鑽的な役割も持たせるようカリキュラムを変更しました。
- (2) 学習支援センターを設置し、入試の多様化などにより基礎学力が不足している学生に不得意科目の学習を支援して、専門知識の修得に努めるよう学生のサポート体制を整えました。また、学生をサポートする人員を常時配置して、ひとりひとりの学生が持つ能力を引き出し、それぞれにあった教育を行ない、学生の満足度を上げて退学者の減少に努めました。
- (3) 引き続き加計コンソーシアムでの「サイバーキャンパス」、大学コンソーシアム岡山を活用して、特色ある他大学の講義を受講させ、学生の幅広い知識の修得に努めました。
- (4) 今年度で最後になる現代G P「人生を展望した総合的キャリア教育の実践」の取り組みにより、学生と地域住民、産業界、行政と一体となって活動していくことで、地域の活性化（まちおこし）に貢献すると同時に、学生は仕事体験による得がたい実地教育を受け、「キャリアチャレンジ」として単位を修得しました。
- (5) 文部科学省へ岡山大学、岡山理科大学、津山工業高等専門学校と連携して申請した「戦略的大学連携支援事業」が採択され、「科学Tryアングル岡山」を組織して、連携大学と共に「科学による地域の活性化」に年次計画をもとに取り組んでいます。
- (6) 産学官連携（岡山TLOなど）による研究を推進して、研究による地域貢献、社会貢献を行ない、外部資金獲得に努めました。
- (7) 開学当初からの無線LANの環境を活用した研究を生かして、野外行事での映像配信、ケーブル配線のない遠隔地、山間部などでの受信、送信による地域貢献に努めました。

#### 《FD・SD》

授業アンケート2回、学生満足度アンケート、公開授業、FD報告書の作成に加えて、新規にFD講演会を3回、SD研修を2回実施しました。

- (1) FD講演会 「キャリア教育の実践と評価」  
講師 三重大学特任教授 宮崎冴子女史 (H20.9.12実施)
- (2) FD講演会 「ジェンダーについて学ぼう」  
講師 倉敷市市民環境局人権政策副参事 山坂敏美女史 (H20.12.8実施)
- (3) FD講演会 (大学院) 「医薬品の現状と将来」  
講師 日本ケミファ(株)創薬研究所長 山川富雄氏 (H21.1.9実施)  
「抗インフルエンザ薬タミフルの現状と最近の新規合成法」  
講師 本学大学院機能物質化学専攻教授 萬代忠勝氏 (H21.1.9実施)
- (4) SD研修会
  - ・日本語検定を推進し、実施しました。(H20.11.7実施)
  - ・「知的財産セミナー」を開催して、意匠制度、商標制度、著作権制度などの仕組みについて学び、各自の社会的な知識向上に役立てる研修会を実施しました。(H20.12.4実施)

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成20年5月1日現在)

		入学者	留学生	社会人
大学院	博士	3	0	1
	修士	26	4	0
大学院(通信制)		6	0	—
学部		435	62	2
学部(通信教育課程)		10	0	—
別科		33	33	—

(単位：人)

卒業者数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

		卒業者・ 修了者	退学者	満期退学者	除籍者	休学者	留年者※
大学院	博士	5	0	1	0	0	1
	修士	25	0	0	0	0	0
大学院(通信制)		8	0	0	0	0	1
学部		369	44	0	27	19	38
学部(通信教育課程)		2	0	0	0	0	11
別科		29	2	0	0	0	2

※ 修業年限を超えて在籍している学生数

(単位：人)

## 2. 学生の募集・広報活動

従来の基本路線を継承しつつ、少しでも志願者、入学者の増加を目指して、新たな取り組みを行いました。

### (1) オープンキャンパスの充実

7月、9月に実施する従来のオープンキャンパスに加えて、6月に学生が企画運営するオープンキャンパスを新たに実施し、高校生に親しみやすい大学をアピールしました。

### (2) 進路担当教員、担任教員、受験生、保護者等への広報

### 3. 就職活動状況

- (1) 2、3年次生を対象に職業適性自己理解テストおよびSPI試験を2回実施して、自己分析を促しました。4年次生は、学部・学科・専攻・コースにより就職・進路状況が異なるため、個別相談を年間通して行い、支援しました。
- (2) 各学部ごとにスタッフを配置し、個々の学生と連絡を取り、履歴書の書き方、面接指導等に重点を置きながら指導・支援を徹底しました。
- (3) 企業訪問（採用情報収集、採用依頼）では、新たに生命動物科学科の求人開拓を行い、昨年同様、医療機関への求人依頼も積極的に行い、希望地域、業種の情報収集を行いました。
- (4) 企業担当者を学内に招き、学生との個別面談等を行う学内企業懇談会を2月に3年生を対象に実施し、早期の就職活動の支援を行うため87社が来校し、学生179人が参加しました。また、企業の単独説明会においては、23社が来校し、87人の学生が参加しました。
- (5) 合同就職懇談会（10月福岡、11月東京、3月大阪・広島で企業担当者と教職員の情報交換会）を実施し、本学が幹事校をする広島会場では171社が参加しました。
- (6) インターンシッププログラムを計画し、ハイパーキャンパス利用を含め、21人の学生が参加しました。
- (7) 8月からリクルートスーツでのガイダンスを実施し、就職に対する学生の意識向上を図り、SPIの演習も新たに導入しました。3年次生対象のガイダンスは下記のとおり実施しました。
- ・就職ガイダンス15回開催し、全て終了。
  - ・職業適性自己理解テストを6月に1日5回3日間実施
  - ・SPI適性模擬検査2回（7/2, 10/22）実施
  - ・就職対策講座2日間（8/6～7）開催
  - ・公務員採用試験対策講座を9月に開催
  - ・4年次生による企業内定者報告会を1月に開催
  - ・企業担当者による業界説明会を11月に開催
  - ・OB・OG報告会を10月に開催
  - ・就職実践模試（START）エントリーシート攻略テスト6日間（11/13～18）実施
  - ・就職対策講座3日間（12/18～20）開催
  - ・模擬面接：（個別、グループ面接）指導随時実施
  - ・論文・作文の添削指導
  - ・メイクに関するガイダンスの導入

#### (8) 就職内定率及び就職内定率の推移

区分	年度	修了者数	就職希望者数 A	就職			進学者数 (大学院)
				就職 B	未就職	内定率 B/A	
大学院	16	39人	11人	10人	1人	91%	4人
	17	26	12	9	3	75	4
	18	17	8	6	2	75	1
	19	22	11	10	1	91	2
	20	24	13	13	0	100	1
学部	16	336	201	187	14	93	22
	17	315	191	182	9	95	37
	18	337	253	246	7	97	26
	19	394	266	246	20	92	32
	20	367	240	221	19	92	30

#### 4. 財務関係

##### 主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	19年度決算額	20年度決算額
学納金収入	2,768,733	2,688,645
補助金収入	477,017	472,023
その他収入	108,440	152,542
帰属収入合計	3,354,190	3,313,210
基本金組入額合計	△ 17,285	△ 28,487
消費収入の部合計	3,336,905	3,284,723
人件費	2,124,871	2,203,001
教育研究経費	1,074,763	1,113,874
管理経費	258,585	268,688
その他支出	25,853	25,903
消費支出の部合計	3,484,072	3,611,466

##### ○収支改善対策の具体的取組と効果

倉敷芸術科学大学の教育理念に基づく教育研究を行うために、健全な財務体制となるように下記のとおり改革・改善を行いました。

##### (1) 学生の確保による収入改善

各学部学科で学生確保のための特別予算（教育活性化予算）を昨年に引き続き計上し、学部学科の新たな試みに対して補助しようと計画しました。

具体的には、学部学科配分予算から捻出した予算を元に大学認知度向上に努めた事業に対して、補助を行う学内制度を立ち上げ、高校生や社会人向けの講座・体験実習等を行い、学生確保に成果を上げました。

##### (2) 退学者、除籍者の減少による収入改善

平成17年度から実施している、退学者に必ずチューターが面談し、退学理由やそれに至るまでの経緯を面談票に記入することで退学理由を把握し、退学者を一人でも少なくする指導を引き続き行いました。学納金未納による除籍対象者へも事務からだけでなく、チューターや学科主任から本人、保護者へ学納金の納入、早急な延納処理の督促連絡を行い、除籍者の減少に努めました。

また、今年度より学習支援センターを設置して、平成20年度は延べ553件の相談があり、各自の能力に応じた勉学のサポートを行い、未修得による退学者の減少に努めました。

##### (3) 補助金・寄付金など外部資金の獲得による収入改善

補助金や寄付金を受けた者が通常予算に加え、外部資金の獲得に要した申請業務の事務費として増額配分することで、補助金・寄付金などの外部資金を獲得する意欲ある教員、特色ある研究者を増やす環境をつくり、収入増となる制度を導入しました。（5件申請）

##### (4) 各学部学科配分予算の見直しによる支出改善

各学部学科配分予算について、配分原資の見直しをして、支出を抑えると同時に補助金等の外部資金獲得者へ圧縮された補助金額の補填を図り、研究支援金に充当する方法を導入しました。

（11件申請）

(5) 教員採用抑制による人件費の支出改善

受講者数の少ない科目、学科の改編などにより現状と乖離している科目などカリキュラムを見直し、非常勤講師の委嘱時間数を極力少なくするよう検討して、人件費の削減に努めました。

また、今後退職が予定される教員が担当する科目について、教員補充をしなくても学部学科を横断した教員移動により、学部三位一体化構想を踏まえて、新たに特色が生まれるような学科教員構成やカリキュラム構成を模索して、教員採用の抑制による人件費の削減に努めていきます。

(6) 教育研究経費・管理経費の見直しによる支出改善

原油の高騰による光熱水費や原材料費の上昇に対応するため、節電や消耗品の節約に努めるだけでなく、省電力設備の導入、効率の良い設備の運用を導入経費と比較しながら模索して、省エネルギー対策による経費の節減に努めました。

また、経費の中で慣習化した項目を見直し、より効率の良い、現状に合った内容に変更したり、取りやめることで、財務改善や業務改善を行いました。

《施設・設備関係》

(1) 施設の整備

建物支出

- ・ 1 1 号館ピロティ改修工事 (9,476千円)
- ・ 学習支援センター改修工事(1,600千円)
- ・ 5号館無停電電源装置工事 (8,900千円)

構築物支出

- ・ 校内照明設備工事 (1,680千円)

(2) 設備の整備

教育研究用機器備品支出

- ・ 水生生物飼育増殖教育装置 (13,781千円)
- ・ 防犯カメラ14台他設備 (19,839千円)
- ・ 全学部・学科実習用機器 (13,515千円)
- ・ 電話交換機更新 (14,700千円) リース導入
- ・ マックPC設備更新 (16,170千円) リース導入
- ・ 硝子溶解炉の更新 (7,875千円) リース導入

図書支出

- ・ 生命動物科学科図書19冊 (820千円) 創設
- ・ 観光学科図書120冊 (2,000千円)
- ・ 全学部・学科用図書 (34,009千円)

《補助金関係》

(1) 文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム (現代GP) の実施 8,500千円

(2) 文部科学省戦略的大学連携支援事業 (科学Tryアングル岡山) の実施 12,000千円

(3) 経済産業省エネルギー教育地域拠点大学 262.5千円

(4) 科学研究費補助金 7件 7,904千円

(5) 共同研究 5件 3,100千円

(6) 受託研究 3件 3,097千円

(7) 研究助成 3件 1,450千円

(8) 寄付金 8件 6,100千円

# 学校法人 加計学園 平成20年度事業報告 【千葉科学大学】

## I. 事業の概要（総括）

完成年度を過ぎ、大学院修士課程も発足しました。今後とも本学の教育上の理念及び目的を達成し、目的及び社会に貢献できる人材育成を行う為、設置趣旨に基づき施設設備及び教員組織の充実を図って行きます。

平成21年度に第三者評価機関で大学評価を受ける予定にしておりましたが、準備等の関係から平成22年度に延期し、本年度は「大学の現状と課題」という報告書を作成致しました。

平成20年入試の志願者状況・入学者数を踏まえ、危機管理学部の学科改組や薬学部の定員削減を検討し、これを届出いたしました。

第2期の卒業生を社会に送り出しました。企業、病院、薬局に加えて、消防、警察など危機管理系の公務員に前年以上の結果を出せました。なお、薬剤師、臨床工学士、臨床検査技師、救急救命士の国家試験については、昨年の経験を生かして指導を行い前年度より合格率は上昇しました。

## II. 大学の概要

### 1. 学生の定員現員数

（平成20年5月1日現在）

研究科・学部・学科		定員数		現員数						
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
大学院	薬科学研究科(修士)	10	10	13						13
	危機管理学研究科(修士)	5	5	10						10
	計	15	15	23						23
薬学部	薬学科(6年制)	180	500	172	188	95				455
	薬学科(4年制)	0	200		1	18	348			367
	薬科学科	40	110	24	35	13				72
	動物生命薬科学科	40	40	32						32
	計	260	850	228	224	126	348			926
危機管理学部	防災システム学科	50	270	30	41	69	73			213
	環境安全システム学科	90	310	70	81	55	101			307
	危機管理システム学科	70	290	81	74	68	96			319
	計	210	870	181	196	192	270			839
(学部計)		470	1,720	409	420	318	618			1,765
合計		485	1,735	432	420	318	618			1,788

（単位：人）

### 2. 学年暦

	春季休業	入学宣誓式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	学位記授与式
千葉科学大学	4月1日 ～ 4月4日	4月6日	8月1日 ～ 9月23日	12月18日 ～ 1月7日	3月4日 ～ 3月31日	3月25日

### Ⅲ. 各事業の概要

#### 1. 教育・研究活動の進捗状況

- (1) 東京ビックサイトで行われた危機管理展（平成20年10月17日－19日）に展示ブースを設置して本学の活動をPRすると共に、危機管理学部の学生を見学させ、参加企業の最新ニュースや各種の危機管理用品に触れさせるよう教育を行いました。
- (2) 学内経費により教育研究を活発化させるための取組を行い、継続取組も含めて49件を採択しました。
- (3) 外部資金の獲得については、科学研究費補助金（基盤1件、基盤研究C8件、若手研究スタートアップ1件、若手研究B4件、分担者12件、研究費約29,000千円）が採択されるとともに、厚生労働省補助金（1件3,800千円）が採択されました。
- (4) 岡山理科大学が主催するOUSフォーラムに昨年に引き続き参加し、本学の薬学部、危機管理学部の研究を各企業に発表しました。

#### 《申請関係》

- (1) 危機管理学部の学科改組並びに薬学部薬科学科のコース設置を検討し、文部科学省に届出を行いました。  
平成21年度  
危機管理学部の防災システム学科、環境安全システム学科を募集停止  
動物・環境システム学科、医療危機管理学科の設置  
薬科学科に化粧品科学コースを設置
- (2) 文部科学省が実施している国公立大学を通じた大学教育改革の支援（教育改革支援プログラム）に3件申請致しましたが、3件とも不採択となりました。

#### 《人事・組織》

- (1) 任期満了に伴い学長、副学長、学部長の改選が行われ、学長には平野敏右氏が、副学長には教育研究担当として宮林正恭氏が、管理運営担当として赤木靖春氏が、薬学部長には浜名洋氏が、危機管理学部長には藤谷登氏が再任されました。また、新設の大学院薬科学研究科長には浜名洋氏が、危機管理学研究科長には藤谷登氏が、併任されました。（平成20年4月1日）
- (2) 学生部と教務部を統合して学務部にするとともに、事務局の下に入試広報室、国際交流室、キャリアセンターに入れるなど事務組織の一部変更を行いました。互いに連携して効率的に業務が行えるようにしました。（平成20年4月1日）

#### 《教育関係》

- (1) 各学部・学科の国家試験の結果を検証し、更により良い結果が得られるように、他大学の指導体制などを調査して、高い合格率になるように支援を早期から行いました。
- (2) 完成年次を迎え、学部を基礎にした大学院を見据え、各学部・学科のカリキュラムの整備を行いました。

#### 《研究関係》

- (1) 産官学連携による共同研究、受託研究などに力を入れ、外部資金導入を推進すると共に、教員の研究支援を行います。
- (2) 平成20年度の千葉科学大学紀要を作成いたしました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成20年5月1日現在)

	入学者		
		留学生	社会人
大学院	23	2	0
学 部	369	42	0

(単位：人)

卒業者数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	卒業者	退学者	除籍者	休学者	留年者※
大学院		1	0	0	
学 部	461	43	14	17	116

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (単位：人)

## 2. 学生の募集・広報

### (1) オープンキャンパス、出張講義の活動結果

オープンキャンパス参加者は、開学以来最高の参加者数となった。出張講義については19年度とほぼ同程度開催しました。

### (2) E-広報の活動結果

### (3) 銚子電鉄を利用した広報活動



### 3. 就職活動状況

学生に対する就職支援、キャリア支援、各種資格取得支援、就職先企業の開拓などを行いました。二期生の内定率は薬学部97%、危機管理学部92%、全学では94.1%でした。危機管理学部では、延べ51名が危機管理系の公務員採用試験に合格しました。

- (1) 就職支援……………就職活動を進める上で必要なテーマ（適性検査実施、自己分析、自己PR、業界研究、筆記試験対策、面接対策など）を取り上げ、学部別に就職ガイダンスを開催しました。また、各学部固有の就職先となる業界を知ってもらうため、業界セミナーを学内で開催しました。
- (2) 合同企業説明会……………企業の採用担当者に本学キャンパスに来学してもらい、学生との面談を行い、本学に対する理解を深めてもらうための合同企業説明会を12月に開催しました。参加企業数は71社でした。  
また、2月に薬学部旧課程3年次生を対象に合同企業説明会、新課程3年次生を対象に合同企業研究会を開催しました。参加企業は21社でした。
- (3) キャリア支援講座……………低年次から社会に目を向けさせ、自己分析やコミュニケーション能力を開発させるための講座や面接の際必要となるマナーを身に付けさせるためビジネスマナー講座を1年次から3年次生を対象に開講しました。
- (4) 公務員試験対策……………2年計画で公務員試験の対策を行う公務員試験対策講座を開講しました。入門講座では30コマ、教養試験対策となる講座では前期38コマ、後期38コマを開講しました。また、4年次生の警察・消防官希望者を対象とする直前講座を9コマ開講しました。さらに、3年次生の12月から有料2回・無料3回の学内模擬試験を実施し、反復受験させることで公務員試験へのモチベーションを高めていきました。
- (5) 企業開拓……………昨年に引き続き、様々な交流会に出席し、就職先の開拓を行いました。また、加計グループ5大学1短大共催の就職懇談会（東京、大阪、広島、福岡）において数多くの企業の採用担当者との交流を図りました。
- (6) 大学パンフレットの作成 ……平成20年度版企業向け大学パンフレットを作成し、全国の主要企業・官公庁等に送付し、大学のPRを図りました。
- (7) 各種資格取得支援……………危険物取扱者・ME技術実力検定・秘書技能検定・漢字能力検定などの資格取得に対して、学内教員が行う講座の支援を行いました。また、NPO法人日本防災士機構が認定する防災士資格の取得に関して、防災士養成研修実施法人の認定を受けました。これにより、危機管理学部指定科目の単位を取得することで資格取得試験の受験資格が得られ、本学内で実施する認定試験に合格すれば防災士の資格を得られることになりました。平成20年度は90名が取得しました。

#### 4. 財務関係

##### 主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	19年度決算額	20年度決算額
学納金収入	3,051,826	2,808,778
補助金収入	7,288	328,459
その他収入	93,485	100,844
帰属収入合計	3,152,599	3,238,081
基本金組入額合計	△ 2,901	△ 20,486
消費収入の部合計	3,149,698	3,217,595
人件費	1,711,025	1,746,360
教育研究経費	1,193,921	1,197,438
管理経費	409,668	434,617
その他支出	1,625	4,894
消費支出の部合計	3,316,239	3,383,309

#### ○収支改善対策の具体的取組と効果

##### (1) 収入の部

今年度より経常費補助金等の申請を行い、326,630千円の収入を得ています。また補助金以外にも積極的に外部資金（科学研究費補助金、奨学寄付金、共同研究、受託研究等）の応募を行い公的資金等の獲得を行いました。

##### (2) 支出の部

教職員、学生一人一人に自覚を持たせ光熱水費等の節約を促すと共に、清掃等できる所は職員で行い、経費の削減を図りました。

#### 《施設・設備》

##### (1) 施設

① ゲストハウス新築工事 約 120㎡ 30,000千円

海外の大学をはじめ、学外からのお客様との懇談会場等として活用しています。

② 講義・実験棟（建物番号5）建設工事着手 約 2,000㎡

薬学部OSCE試験（事前実務実習試験）対応室、薬学部CBT試験対応室、動物飼育室、実験室、講義室他に使用します。完成予定は平成21年6月末。

##### (2) 設備

##### ① 教育研究用機器

・薬学部・危機管理学部 教育・研究用機器 13,913千円

・教務システム機器（リース導入） 3,500千円

##### ② 図書

・備品図書、洋雑誌、和雑誌 20,465千円

#### 《外部資金関係》

(1) 科学研究費補助金（分担者を含む） 26件 29,110千円

(2) 受託研究 7件 10,577千円

(3) 研究助成 3件 2,820千円

(4) 奨学寄付金 1件 100千円

# 学校法人 加計学園 平成20年度事業報告 【岡山理科大学附属高等学校】

## I. 事業の概要（総括）

入学者の減少に歯止めをかけ、生徒数を増加させるため、建学の理念の原点に立ち返って、これまで以上に、生徒・保護者・地域社会から信頼される学校づくりを推進しました。

具体的には

- 1) 生徒一人ひとりの学力を向上させ、満足のいく進路実現を保証。
- 2) 礼儀正しく、品位ある生徒を育成。
- 3) 教員の意識改革及び資質向上を図り、安心して子供の教育を任せられる学校であるとの評価を確立。

学力向上と進路実現のため、授業改善・学習支援に取り組むとともに、関連大学との実効性のある高大連携を推進し、関連大学への進学者の増加を目指しました。

品位ある生徒の育成のため、基本的な生活態度の確立（とくに挨拶の励行、身だしなみの指導、遅刻の防止、朝読書の実施）に努めました。

危機感をバネに、学校組織、学校運営を改革し、教職員の意識の活性化を図るため教職員研修にも力を入れ、教職員集団が、それぞれの持ち味を活かしながらチームワークを発揮し、充実した教育活動が実践できるように努めました。

信頼される学校づくりのため地域社会との交流の機会を増やし、それに加えて時代や社会のニーズに対応した科・コースの特色・魅力アップを実現するために学校評価を実施しました。

## II. 学校の概要

### 1. 生徒の定員現員数

（平成20年5月1日現在）

課程・科		定員数		現員数			
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	合計
全	普通科	450	1,290	338	284	289	911
日	機械科	105	315	80	62	59	201
制	電気科	0	70	0	7	14	21
課	情報科	0	70	0	28	10	38
程	電気情報科	40	40	30			30
	計	595	1,785	448	381	372	1,201
通信制課程	(広域)普通科	600	600				352
合計		1,195	2,385	448	381	372	1,553

（単位：人）

### 2. 学年暦

	学年始休業	入学式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	卒業証書授与式
岡山理科大学附属高等学校	4月1日 ～4月7日	4月9日	7月20日 ～8月31日	12月25日 ～1月7日	3月21日 ～3月31日	3月1日

### Ⅲ. 各事業の概要

#### 1. 教育活動の進捗状況

最近4、5年の志願者数減、入学者数減を受けて、抜本的な改革として、科・コースにおいては電気科・情報科の統廃合を行い電気情報科を設置、また普通科の中に生命動物コースの設置を行い、関連大学の特色ある学部・学科との連携・接続・進学をアピールしました。

高大連携については附属高校と大学との相互理解を更に深め、高大連携推進委員会を中心に進学理大コースだけでなく、全科・全コースにおいて具体的な取り組み方法を探り、高校、大学がお互いに持ち味の生かせる内容にまとめていく手段として、倉敷芸術科学大学と高大連携協定を締結しました。

工業においては活性化を図るため、各科とも趣向を凝らした「ものづくり」の内容を検討して、本校主催の物づくりコンテスト等を県下中高生を対象に行い、特色ある実験実習として理大教員による課題研究を実施しました。また生徒に対しては資格取得試験に積極的に挑戦させるよう指導を行いました。

通信制課程では今年度の特進クラス等の進学実績を基に、高校卒業資格の取得だけでなく、大学進学を目的とした進学に強い通信制課程をアピールしました。

また岡山シーガルズとのスポーツ交流協定に基づき中・高の女子バレー部の充実を図るため、練習環境を整えるべく、小体育館を新築しました。(竣工：平成21年1月31日)

特別進学コースや進学理大コース、普通コースにおいて、国公立大学をはじめとする進学実績を上げることがもとより、教科指導、生徒指導、進路指導において次の取り組みを実践して、生徒、保護者、地域社会に信頼される学校づくりに取り組みました。

教科指導においては、特に国語力向上を本校の学力増進の柱として、読書の時間(朝読)を設け、優れた文章を読むことによる生徒個人の間力向上を基盤に置き、生徒一人ひとりの能力に応じた「わかる授業」「魅力ある授業」を行い、全教科の学力向上を目指しました。

また昨年度導入しました河合塾サテライト講座の活用を図ります。さらに科学オリンピック・SSH(スーパーサイエンスハイスクール)への申請を行いました。

生徒指導では、各教員が生徒一人ひとりの基本的な生活習慣の確立に努め、家庭との連絡を密にして、生徒、保護者の信頼を得られるよう日々努力してまいります。遅刻防止強化週間を休み明けに設け、生徒指導・保護者への啓蒙を行い遅刻者の減少を促進することにより、授業への導入をスムーズに行いました。

進路指導では、生徒一人ひとりの希望、適性に合ったきめ細やかな進路指導を行い、目標を持ち、毎日が充実した学校生活となるように努めました。

また、高大連携をはじめとする「校外学修科目」受講への参加を促し、幅広い視野にたった生徒の育成にも努め、関連校(倉敷芸術科学大学)との協定を増やしてまいりました。

工業においてはいままでの実習内容に工夫をするだけでなく、新たな実習への取り組み、「魅力ある実習」によって生徒の活力を増進するだけでなく、資格取得の奨励、検定試験指導を徹底することで、生徒にやる気と自信を持たせることに努め、基礎学力定着のための補習を実施しました。

#### 《申請関係》

本校の特色である多数の関連校の存在を活用した科・コースの改善、新コース設置に向けて、検討し、体育コースを健康・スポーツコースに変更するとともに共学化することで届出をしました。

またSSH(スーパーサイエンスハイスクール)申請を行いました。採択されませんでした。しかしSPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)申請を行い、4件が採択されました。

通信制課程の教育区域追加、岡山市の政令指定都市化に伴う住所表記の変更を含む学則変更申請・届け出を行い認可・許可されました。

《人事・組織》

中高入試広報室を設置し、総長直轄機関である中高広報室と連携をとりながら、広報戦略の充実を図りました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成20年5月1日現在)

	入学者	留学生	
		留学生	社会人
全日制課程	448	0	0
通信制課程	163	0	

(単位：人)

卒業者数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	卒業者	退学者	除籍者	休学者	留年者※
全日制課程	369	36	4	2	
通信制課程	135	20	5		

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数 (単位：人)

2. 生徒の募集・広報

従来の入試広報部と中高入試広報室とが共同できめ細かい学校訪問、説明会の回数を増やし、従来の媒体および新規の広報媒体を使用して高校の紹介をしていきます。本校主催の、高校入試のための入試セミナーを実施し、また受験生の利便性を高めるとともに本校の受験率アップを図るべく、I期入試では、関連大学等の施設を入試会場に加えました。

オープンスクールを2回実施、部活動紹介のオープンスクール、地区別説明会を実施しました。

3. 進学・就職活動状況

一昨年、昨年同様に早い時期からの進路目標確立のため、学年別・進路先別にガイダンス、講演会を計画、また各科・コースにおいても生徒、保護者対象に進路説明会を実施して、生徒の進路意識を高めると同時に生徒一人ひとりに適した進学・就職先を指導しました。

また、昨年同様に有名難関大学の指定校獲得のため、可能な限り大学訪問を行い、就職先ではより有名、優良企業の求人確保のため、企業訪問を実施しました。

#### 4. 財務体質の強化

##### 主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	19年度決算額	20年度決算額
学納金収入	852,024	803,470
補助金収入	423,656	413,848
その他収入	89,525	70,176
帰属収入合計	1,365,205	1,287,494
基本金組入額合計	△ 8,005	△ 17,498
消費収入の部合計	1,357,200	1,269,996
人件費	1,266,321	1,177,110
教育研究経費	247,219	231,459
管理経費	158,058	149,699
その他支出	65,499	65,458
消費支出の部合計	1,737,097	1,623,726

##### ○収支改善対策の具体的取組と効果

機構の見直し、役職の任期制導入、人員削減などに努めました。

また、教育研究経費、管理経費においても、昨年同様、必要な経費を明確化して、最小限の支出に努めました。

##### 《施設・設備》

現在の財務状況下での新規施設は非常に難しいと考えており、施設等が経年経過で補修等が必要な施設・設備が増えていますので、補修・改修に重点を置き施設の充実を図りました。

##### ○支 出

- ・体育館新築（女子バレー）（194,670千円）完成
- ・東寮新館1階更衣室改装工事（1,950千円）完成

# 学校法人 加計学園

## 平成20年度事業報告

### 【 岡山理科大学附属中学校 】

#### I. 事業の概要（総括）

開校7年目を迎えて、創立以来最多の第7期生61名が入学しました。更なる入学者の確保を目指して

- 1) 対策ワーキンググループを編成し、入試広報活動を計画的に進めました。
- 2) 1期生の進学実績を広報に活用しました。
- 3) 神戸会場を新設し、関西地区の広報を積極的に進めました。
- 4) 課外活動（部活動・委員会活動）について、ソフトテニス部、女子バレーボール部を発足させることとなり、広報活動を強化しました。

その結果、過去最高の志願者数218名を達成しました。入学者数については、残念ながら55名と過去2番目の数にとどまりました。依然として、入学定員80名に対して入学者数が定員割れの状況にあるのが現状であります。

そのほか、第5期生32名が義務教育課程を修了し、うち26名がそのまま中高六年一貫コースの高校に、1名が附属高校理大コースに、1名が健康スポーツコースに進学が決定しました。

#### II. 学校の概要

##### 1. 生徒の定員現員数

（平成20年5月1日現在）

	定員数		現員数			
	入学定員	収容定員	1年	2年	3年	合計
岡山理科大学附属中学校	80	240	61	38	32	131

（単位：人）

##### 2. 学年暦

	学年始休業	入学式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	修了式
岡山理科大学附属中学校	4月1日 ～ 4月7日	4月9日	7月20日 ～ 8月31日	12月25日 ～ 1月7日	3月21日 ～ 3月31日	3月17日

### Ⅲ. 各事業の概要

#### 1. 教育活動の進捗状況

中高六年一貫コースの目標として、全国難関大学や医歯薬学系大学への進学を目指しており、六年の課程を前倒しで進めるとともに、全国模試や各種検定試験指導を強化しました。全国模試や各種検定とともに、一学年上のレベルに挑戦させ良い実績を得ました。数学検定では、中学3年生のうち1人が準2級（高校中級レベル）に合格しました。同様に、英語検定では1年生1人と3年生1人が2級、中学生2人が準2級、漢字検定では2人が2級、2人が準2級に合格しました。

6月に3年生が南オーストラリアのバンクシャー・インターナショナルハイスクールに海外研修旅行に行き、相互の交流を深めるとともに、ファームステイも体験して文化の違い等を学んで帰国しました。また、1年生は玉野総合医療専門学校で介護体験実習を、2年生は倉敷芸術科学大学で陶芸、ガラス工芸実習を行いました。

部活動においては、ソフトテニス部が創部1年目にも拘わらず男女とも揃って中国大会出場を果たし、団体女子が優勝、団体男子が3位になるなど活躍いたしました。また、女子バレーボール部においても中国大会出場を果たしました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成20年5月1日現在)

	入学者		
		留学生	社会人
岡山理科大学附属中学校	61		

(単位：人)

卒業者数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	修了者	退学者	除籍者	休学者	留年者※
岡山理科大学附属中学校	32				

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数

(単位：人)

#### 2. 生徒の募集・広報

岡山市、倉敷市、赤磐市、備前市、神戸市、加古川市、姫路市、相生市を中心に塾訪問及び小学校訪問を行いました。7月、8月、9月、10月、11月、12月にそれぞれオープンスクール及び入試説明会を行いました。7、8月に開催したオープンスクールに実験教室、バレーボール教室、ソフトテニス教室、イメージ教育の授業、講演会を組み込み約900名の参加者を得ました。



### 3. 財務関係

#### 主な収入及び支出

(単位：千円)

年 度 科 目	19年度決算額	20年度決算額
学 納 金 収 入	51,777	77,644
補 助 金 収 入	49,339	50,395
そ の 他 収 入	2,788	24,849
帰 属 収 入 合 計	103,904	152,888
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 182	△ 939
消 費 収 入 の 部 合 計	103,722	151,949
人 件 費	170,112	211,572
教 育 研 究 経 費	30,687	35,789
管 理 経 費	12,571	15,504
そ の 他 支 出	0	0
消 費 支 出 の 部 合 計	213,370	262,865

#### ○収支改善対策の具体的取組と効果

来年度以降も、志願者数、入学者数の確保が急務となっております。広報活動の強化により、過去最高の志願者数を確保しましたが、定員割れの状況には変わりはなく、定員を充足させることが最低限の目標となります。

人件費の伸びを抑えながら経費の削減にも努めましたが、入学者数が定員を下回っているため、より一層の入学者の確保に努めていきます。

# 学校法人 加計学園

## 平成20年度事業報告

### 【 岡山理科大学専門学校 】

#### I. 事業の概要（総括）

建学の理念を遂行するため、学生、保護者、受験生、高校、教職員、地域社会・市民から信頼される学校として時代のニーズにあった基礎創りを進めております。

- |         |                                                                                                                                 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学生      | 学生対応、施設の充実を図り、満足度アップを進めております。                                                                                                   |
| 保護者     | 検討の結果、平成21年度に教育懇談会を実施致します。                                                                                                      |
| 受験生     | 見やすい学校パンフレット、募集要項、ホームページ、分かりやすいオープンキャンパスを心掛けアピールしました。1割増（26名）の新入生がありました。                                                        |
| 高校      | 県内については担当者を固定し、訪問頻度を上げ、情報交換を密にし、進路担当と人間関係を構築できるよう努めたが、まだ不十分で、今後の課題としたい。                                                         |
| 教職員     | 勤務意欲の湧く体制の基礎づくりと意識改革を目指して学校運営にあたりました。事務職員の教育に係る意識と教育職員のベクトルを同一方向になるよう、会議、朝礼で方向性を打ち出しました。改善は見られるも、一朝一夕には難しく、今後も継続的な取り組みが必要であります。 |
| 地域社会・市民 | 動物愛護週間の行事、河川清掃ボランティア等々地域の行事等に参加し地域社会と連携し、地域に開かれた学校運営を目指しました。                                                                    |

#### II. 学校の概要

##### 1. 学生の定員現員数

（平成20年5月1日現在）

課 程	定員数		現員数		
	入学定員	収容定員	1年	2年	合計
工業専門課程(建築学科昼・夜間部)	90	180	47	47	94
商業実務専門課程(映像情報学科)	0	0	-	-	-
文化・教養専門課程(動物系総合学科2年課程)	180	330	140	174	314
文化・教養一般課程(動物系総合学科1年課程)	30	30	2	-	2
小 計	300	540	189	221	410
建築学科専攻科	10	10	8	-	8
映像情報学科研究科	0	0	0	-	0
動物系総合学科研究科	25	25	10	-	10
合 計	335	575	207	221	428

（単位：人）

## 2. 学年暦

	春期休業	入学式	夏期休業	冬期休業	学年末休業	卒業証書授与式
岡山理科大学 昼間部	4月1日 ～4月9日	4月8日	7月24日 ～8月24日	12月24日 ～ 1月8日	3月21日 ～3月31日	3月20日
岡山理科大学 専門学校 夜間部	4月1日 ～4月9日		8月1日 ～8月24日	12月24日 ～ 1月8日	3月21日 ～3月31日	

## Ⅲ. 各事業の概要

### 1. 教育・研究活動の進捗状況

#### (1) 保護者会等の創設を検討しました。

学生生活や保護者の満足度向上のため、保護者との情報交換のできるしくみや組織作りを検討し、事前段階として、次年度より教育懇談会を実施する事となりました。

#### (2) 自己点検・自己評価を段階的に実施しました。

授業アンケートを実施し、専任教員について管理職より報告・指導を実施致しました。

授業準備等で改善傾向が見受けられますが、まだまだ不十分であります。

#### 《申請関係》

#### (1) 動物看護学科の3年制課程新設の届出を岡山県に提出し平成22年度よりスタートします。

#### 《人事・組織》

#### (1) ボトムアップ、トップダウンの円滑実施な体制の構築を目指して学校運営にあたりましたが、まだ途上段階で継続的な取り組みが必要であります。

#### (2) 事務職員の減員に伴い、事務の集中化を実施しました。日中校務室が無人になることがなくなり、一定の効果はありました。

#### 「真面目できめ細かい教育」の実施

#### (1) 教職員が学生個々をより把握し専門分野の能力を最大限に引き出し、即戦力として社会の求める技術、知識、社会人としての常識を身につけさせ、各種資格取得を目指し、より満足感の高い就職を勝ち取るために、教職員が一体となって学生をサポートしました。特に早期より就職活動を啓蒙し、就職内定率98%という結果になりましたが、次年度以降も更に力を入れて継続する必要があります。

#### (2) サブチューター制（2名制）を導入し、職員から適任者をあて、チューター不在時のフォローや女子学生に対し女性職員ならではの相談等きめ細かい対応を行いました。退学者数については効果はでませんでした。（退学者率5.6%昨年度4.8%）

#### (3) 学習環境の整備

全校的及び部署ごとに環境美化を実施し、状況は好転していますが継続的な取り組みが必要です。建築学科の製図台の買換え等教育機器の更新を随時実施しています。

入学者数・卒業生数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成20年5月1日現在)

	入学者		
		留学生	社会人
岡山理科大学専門学校	226	0	5

(単位：人)

卒業生数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	卒業生	退学者	除籍者	休学者	留年者※
岡山理科大学専門学校	230	24	7	6	4

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数

(単位：人)

## 2. 学生の募集・広報

「入学者の早期囲い込み」の実施

- (1) 受験生・保護者・高校に対し本校の内容をよりよく理解してもらえるように、見やすい、分かりやすいパンフレット、募集要項、ホームページを新年度早々に完成させました。次年度以降、更なる工夫が必要と思われまます。
- (2) オープンキャンパスは毎月開催し、年間30回開催しました。

## 3. 就職活動状況

「出口を良くする」の実践

- (1) 1年次後半に2回、2年次に8回就職ガイダンスを実施しました。それぞれの時期に併せて必要な内容を実施し、就職意欲を刺激し早期から就職活動を開始するよう指導しました。  
就職内定率は98%であったが、12月末で約70%（前年46%）の学生が内定しており、卒業間際に駆け込みで就職先を決めるといった感じは薄れた。ただ動物系教員の就職に対する意識を高める必要があると感じます。
- (2) 大学主催の企業懇談会に積極的に参加し、一般企業からの求人増に繋がるように積極的に働きかけました。

#### 4. 財務関係

##### 主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	19年度決算額	20年度決算額
学納金収入	391,312	341,391
補助金収入	401	389
その他収入	7,475	6,262
帰属収入合計	399,188	348,042
基本金組入額合計	△ 414	△ 21
消費収入の部合計	398,774	348,021
人件費	241,681	224,037
教育研究経費	99,435	98,560
管理経費	32,363	37,702
その他支出	2,673	2,858
消費支出の部合計	376,152	363,157

#### ○収支改善対策の具体的取組と効果

##### (1) 収入

- ・定員確保にむけ学生募集を強化し、授業料収入増を図りましたが、定員確保には至りませんでした。産学官連携を強化し企業からの受託研究、県から施設設備補助は前年度と比較し341千円の増額となりました。サブチューター制を導入し、きめ細かい対応で退学者の歯止めを図りましたが、退学者数24名で（前年度24名）効果がでませんでした。次年度も継続的に退学者減に向けて対策を講じて行きます。

##### (2) 支出

- ・人件費の削減  
職員の1名減員を実施し、事務の集中化を行い効率化を図りました。専任教員の担当時間数、校務分掌の標準化を目指しましたが、今後の課題として実施する必要があります。
- ・光熱水費の節約を図ります。  
定期的な巡回により無駄な照明のカット、冷暖房の省エネを実施しました。電気消費量は軽減されましたが、折からの電力会社による、電気代値上げの影響で電気代については軽減が図れませんでした。

#### 《施設・設備》

- ・平素からこまめに管理、メンテナンスを行い施設・設備の耐用年数が延びるよう維持管理に努めました。老朽化した設備もあり、今後も継続が必要です。

# 学校法人 加計学園

## 平成20年度事業報告

### 【 玉野総合医療専門学校 】

#### I. 事業の概要（総括）

「学・術・道」の校是のもと21世紀の福祉社会が求める専門職育成を目指して、国家試験の全員合格を目標に全学を挙げて取り組みました。

平成21年度入学定員確保のために教職員一丸となって広報活動に取り組みました。

#### 1. 教育活動の進捗状況

##### 保健看護学科

4年生の国家試験受験に向けて、国家試験対策（看護・保健）担当教員を専任とし、学生指導の強化を図りました。既卒者対象に研究生の制度を設け、指導にも力点を置きました。

また、3年次生に関しては、国際理解を含めた海外研修（米国）へ6名参加しました。2年次生に関しては、5月に宣誓式を行い、看護師への道に関して、あらためて各自の認識を考え直し、今後の目標を再認識させました。

##### 介護福祉学科

介護福祉学科卒業で取得できる介護福祉士の資格に関して、2年次生に自覚を持ってもらうため、また最終段階の実習に出る前の意思確認を行うために、10月に宣誓式を行い、決意を新たにさせました。

2年間のレクレーション授業の集大成として年始に地域の方々を招いての、お正月行事を企画・運営しました。

##### 理学療法学科

4年生に向けて、一昨年・昨年度からの教訓を踏まえ国家試験対策の時間数を十分に確保し、学生が十分な余裕と自信を持って国家試験受験に臨むことが出来るように指導しました。

既卒者対象に研究生の制度を設け、指導にも力点を置きました。

また、3年次生においては、国際理解（米国）を深めるための海外研修へ6名参加しました。

##### 作業療法学科

4年生に向けて、一昨年・昨年度からの教訓を踏まえ国家試験対策の時間数を十分に確保し、学生が十分な余裕と自信を持って国家試験受験に臨むことが出来るように指導しました。

既卒者対象に研究生の制度を設け、指導にも力点を置きました。

また、3年次生においては、国際理解（米国）を深めるための海外研修へ5名参加しました。

#### 4 学科合同

- ・新入生に関しては、学生間の交流を図り、仲間意識を強め連帯感を持たせる目的として、1年生の合同宿泊研修を実施しました。
- ・地域交流の一環として、「たまの・港フェスティバル」に学校として初めて参加しました。また、学生はボランティアとして開催イベントに参加しました。
- ・「教育懇談会」を新たに設け、保護者・学生・教員間での修学状況・進路について情報交換をおこなうことができました。
- ・「謎（予防・安心・安全・健康）」と題して公開講座を開催し、市民の参加がありました。
- ・学友会主導による学校祭を行い学生間・地域の方々との交流を図りました。

## II. 学校の概要

### 1. 学生の定員現員数

(平成20年5月1日現在)

課 程	定員数		現員数				
	入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	合計
医 療 専 門 課 程 (保健看護学科、理学療法学科、作業療法学科)	120	480	119	87	117	107	430
教育・社会福祉専門課程 (介護福祉学科)	40	80	23	13			36
合 計	160	560	142	100	117	107	466

(単位：人)

### 2. 学年暦

	春季休業	入学式	夏期休業	冬期休業	学年末休業	卒業証書授与式
玉野総合医療専門学校	4月 1日 ) 4月 3日	4月10日	8月 1日 ) 8月31日	12月24日 ) 1月 4日	3月21日 ) 3月31日	3月10日

## III. 各事業の概要

### 1. 教育活動の進捗状況

#### 保健看護学科

- ・看護師国家試験は、4年生27名・既卒者5名が受験し、4年生25名・既卒者3名が合格しました。
- ・保健師国家試験は、4年生27名・既卒者2名が受験し、4年生26名・既卒者1名が合格しました。
- ・卒業生の就職状況は、卒業生27名の全員が県内外の諸施設に就職しました。

#### 介護福祉学科

平成20年度は、17名が卒業し、全員が施設等に就職しました。

#### 理学療法学科

- ・理学療法士国家試験を4年生34名・既卒者9名が受験し、4年生32名・既卒者9名が合格しました。
- ・卒業生の就職状況は、卒業生34名の全員が県内外の諸施設に就職しました。

#### 作業療法学科

- ・作業療法士国家試験を4年生26名・既卒者5名が受験し、4年生25名・既卒者5名が合格しました。
- ・卒業生の就職状況は、卒業生26名の全員が県内外の諸施設に就職しました。

入学者数・卒業生数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成20年5月1日現在)

	入学者		
		留学生	社会人
玉野総合医療専門学校	128	0	2

(単位：人)

卒業生数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	卒業生	退学者	除籍者	休学者	留年者※
玉野総合医療専門学校	100	40	0	13	32

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数

(単位：人)

## 2. 学生の募集・広報

- (1) 5月から8月にかけてOHKでのテレビCMを重点的に行い、オープンキャンパスへの参加を促しました。
- (2) オープンキャンパスを5月24日(土)に一日体験入学(職業理解を目的)、6月29日(日)及び7月26日(土)に体験型(ミニ講義を含む)オープンキャンパス、8月26日(火)～30日(土)の間にミニオープンキャンパス、10月4日～5日の学校祭に併せてオープンキャンパスを実施しました。(5月、6月、7月は、岡山玉野間の無料バスを運行しました。)
- (3) 広報誌等が主催する学生と直接会える説明会を中心に参加しました。(特に岡山、鳥取、島根、香川、徳島)
- (4) スクールバスの運行により、通学可能範囲の高校と過去に入学実績のある高校を中心に積極的に広報活動を行いました。



### 3. 就職活動状況

保健看護学科の就職担当教員による県内全域の主たる病院施設等への訪問、及び既卒者による各自の就職先の紹介、卒業前と就職後の各自の意識の違いなどに関する意見交換会を開催しました。

介護福祉学科の就職担当教員による県内施設への求人状況の問い合わせを行いました。

理学療法学科、作業療法学科の就職担当教員による県内外の本校実習施設及び病院施設等への問い合わせを行いました。

平成20年度卒業生就職率	保健看護学科	100%
	介護福祉学科	100%
	理学療法学科	100%
	作業療法学科	100%

#### 4. 財務関係

##### 主な収入及び支出

(単位：千円)

年 度 科 目	19年度決算額	20年度決算額
学 納 金 収 入	535,393	505,762
補 助 金 収 入	26,904	26,831
そ の 他 収 入	7,040	7,318
帰 属 収 入 合 計	569,337	539,911
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 657	△ 2,299
消 費 収 入 の 部 合 計	568,680	537,612
人 件 費	327,985	343,839
教 育 研 究 経 費	193,888	188,275
管 理 経 費	36,379	38,196
そ の 他 支 出	3,418	3
消 費 支 出 の 部 合 計	561,670	570,313

#### ○収支改善対策の具体的取組と効果

昨年度と比較して、20年度の受験生は、若干減少しました。専願入試で保健看護学科は増加したが介護福祉学科の激減したのが1つの原因であります。また、理学療法学科での併願制入試の辞退者の増も原因であります。このため定員確保に至っていないため、平成21年度は、下記の内容で学生募集に努めます。

(1) 受験生、保護者への広報を積極的に行います。

- ・ 高校内説明会等に過年度以上に積極的に参加し、本校の特色を受験生に直接伝えるよう努めます。
- ・ スクールバス運行により通学可能範囲の高校へ積極的に広報を行います。

(2) 平成21年度入試から全学科での指定校を実施します。(平成20年度は、保健看護学科

- ・ 介護福祉学科の2学科で実施)

(3) 教育及び学生サポートの充実により、在校生の満足度を上げるよう努めました。

# 学校法人 加計学園 平成20年度事業報告 【 倉敷食と器専門学校 】

## I. 事業の概要（総括）

- (1) 高度調理フードコーディネート学科は、1年次に調理師資格取得に係わる指定科目を履修し、洋食、和食、寿司、中華、麺の知識を習得できるようカリキュラムを変更し、卒業後即戦力となるよう、一層高度な知識技術の習得を目指しています。  
また、校舎敷地内に羽釜を設置しました。
- (2) 高度製菓製パン学科は、1年次に製菓衛生師資格取得に係わる指定科目を履修し、2年次に受験するようにカリキュラムを変更しました。卒業時まで資格取得を目指します。  
また、校舎敷地内に設置した石焼きパン窯を使用し、薪で焼くパンの知識技術も習得できるようにしました。
- (3) 「高度陶芸ガラス創作学科」から「器デザイン学科」への学科名変更が認可となりました。  
器デザインを中心にデザイン力をアップすると同時に、陶芸やガラス制作もできるトータルの器を理解できる人材の育成を目指します。

## II. 学校の概要

### 1. 学生の定員現員数

（平成20年5月1日現在）

課 程	定員数		現員数		
	入学定員	収容定員	1年	2年	合計
衛生専門課程 (高度調理フードコーディネート学科、高度製菓製パン学科)	80	160	40	40	80
文化・教養専門課程 (高度陶芸ガラス創作学科)	20	40	5	10	15
小 計	100	200	45	50	95
高度陶芸ガラス創作研究科	10	10	0	-	0
合 計	110	210	45	50	95

（単位：人）

### 2. 学年暦

	春季休業	入学式	夏期休業	冬期休業	学年末休業	卒業証書授与式
倉敷食と器専門学校	4月1日 ） 4月4日	4月5日	7月25日 ） 8月31日	12月24日 ） 1月7日	3月21日 ） 3月31日	3月23日

### Ⅲ. 各事業の概要

#### 1. 教育活動の進捗状況

##### (1) 高度調理フードコーディネーター学科

高齢者介護食にかかわる授業を導入することにより、介護を必要とする高齢者のための食欲の出る調理、季節感のある料理、見た目に美しい料理などの知識、技術を習得し、食のスペシャリストとしての幅を広げました。

また、近年朝食を採らない学生が増えていることもあり「食育」が叫ばれているなか、本校でも食育に係わる授業を導入し食育インストラクターの資格取得が出来るようにしました。

##### (2) 高度製菓製パン学科

製菓実習の割合を増やし、より実践的な能力が身につくようにしました。

##### (3) 高度陶芸ガラス創作学科

建学の理念のもと、器を作る「知恵」（豊かな知識）、「喜び」（確かな技術）、「責任」（愛される人格）を持った人材を育成するため、科目内容の見直しを行い、教育内容の充実を図りました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧

(平成20年5月1日現在)

	入学者	留学者	
		留学生	社会人
倉敷 食と器 専門学校	45	0	7

(単位：人)

卒業者数等一覧 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	卒業者	退学者	除籍者	休学者	留年者※
倉敷 食と器 専門学校	48		1	1	

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数

(単位：人)

## 2. 学生の募集・広報

次のことを実施し、入学志願者増を図ります。

- (1) 特待生制度の充実  
特待生制度を充実させ、学費の優位性を強調しました。
- (2) 無料スクールバスの広報  
倉敷駅・新倉敷駅・茶屋町から運行している無料スクールバスを宣伝し、特に児島、坂出、高松からの入学志願者の増加に努めました。
- (3) 高等学校訪問の充実  
定期的に訪問し、多くの先生に本校を知っていただき、生徒への紹介をお願いし、それと同時に教員との信頼関係を築くよう努めました。
- (4) 高等学校内説明会への参加  
参加回数を増加させ、多くの高校生に直接本校の説明をしました。
- (5) オープンスクールの見直し  
競合校との比較において、本校が選ばれるよう、特に体験内容を見直しました。

## 3. 就職活動状況

- (1) 就職担当をおき、また教職員一同で積極的に就職指導を行いました。
- (2) 平成19年度に引き続き求人票の早期収集、早い時期からの就職指導等を行いました。
- (3) 学生に対しては、挨拶、返事、言葉遣いなど社会生活の基本を指導するとともに、進路・就職希望調査の実施及び模擬面接、受験指導等を実施しました。
- (4) 4月から、2年生に対してガイダンスを実施し、会社説明会、会社訪問の積極的参加を指導しました。
- (5) 就職未決定者に対し適時意識の高揚を図り、就職活動をサポートしました。
- (6) 2月に、1年生に対して就職ガイダンス、インターンシップについての心構えの指導を行いました。

#### 4. 財務関係

##### 主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	19年度決算額	20年度決算額
学納金収入	110,461	96,498
補助金収入	224	226
その他収入	3,425	2,220
帰属収入合計	114,110	98,944
基本金組入額合計	△ 1,307	△ 12
消費収入の部合計	112,803	98,932
人件費	115,426	134,211
教育研究経費	63,239	60,033
管理経費	41,515	41,183
その他支出	0	69
消費支出の部合計	220,180	235,496

#### ○収支改善対策の具体的取組と効果

##### 支出の削減 経費の削減

学校の清掃業務について、外部委託先を見直しました。また、ごみ収集業務を地元の業者に依頼するなど、経費の削減に努めました。以上のように、削減できるものは順次見直しを行ってまいりました。